

事象関連電位測定プログラムシリーズ(NoruPro Light Systems)

基礎医学研究用途

1つのPCで計測と刺激が可能になった！

EP Travel Field2 (刺激付リアルタイム測定)



EP Travel Field2 は、ポリメイトと組み合わせてフィールドで事象関連電位を測定するためのソフトウェアです。ポリメイトと1台のノート型PCで計測と刺激を行い(外部モニタが必要)、リアルタイムERP計測を行いその場で結果を確認できると同時に、研究用にオフラインでの再加算などの詳細な解析が可能になります。

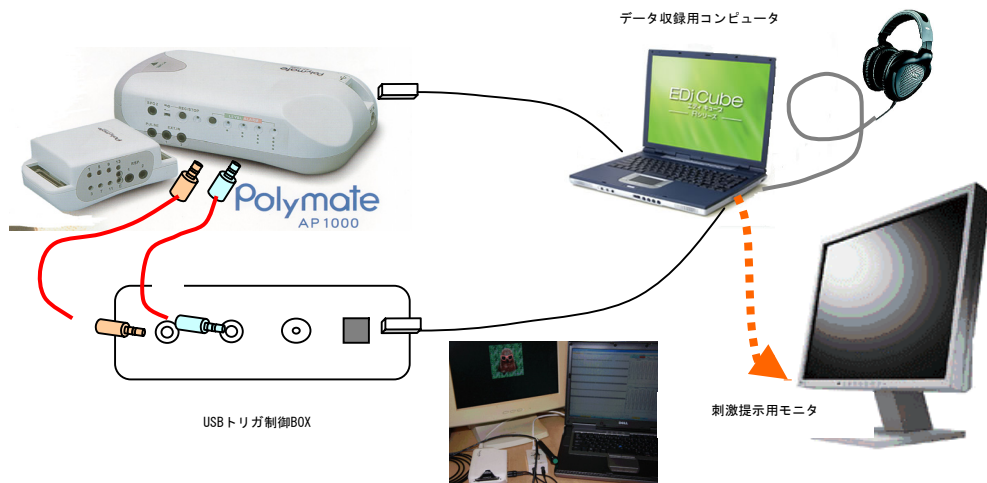
ソフトウェア構成

- リアルタイム加算モニタ(刺激提示機能付) (Realtime P300 Test/ Realtime CNV Test)
- 誘発波形基本ソフトウェア (EP Multi Viewr)
- 再加算解析ツールプログラム (P300/CNV ReAverage Analysis)

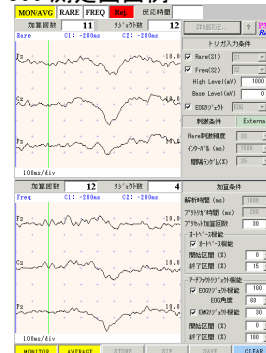
特徴

- 小型・軽量システムにより、フィールドでのP300, CNV測定が行えます。
- 多チャンネル(30Ch+Trig2Ch)の計測が可能です。トリガは2系統が可能です。
- 1台のPCで計測と外部モニタへの刺激提示を行うことができます。
- 刺激は2系統のトーンバーストあるいは画像(図形・画像)が可能です。
- 音刺激はPCのサウンド機能から出力します。(厳密な音圧出力はできません)
- 画像刺激はマルチモニタのスレーブモニタ側に提示されます。
- 音刺激のみの場合には、スレーブモニタなしで計測が可能です。
- USBトリガ制御BOXの押しボタンで反応時間の計測が可能です。
- リアルタイムでERP加算波形モニタができるので、測定結果の確認ができます。
- 加算結果だけでなく1刺激ごとのデータを保存(RAW波形)し、後で再加算が可能になります。
- 誘発Viewerでは多様な波形表示手法ができ、波形グループ間の演算も簡単にできます。
- マーカー機能が充実しています。
- オプションソフトウェアを追加することでマップ解析やグランド加算が可能です。
- 操作ヘルプが充実しています。

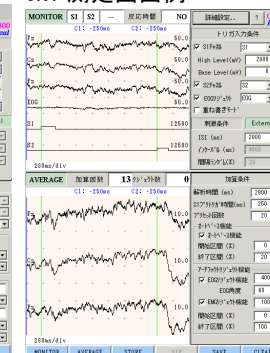
EP Travel Field2の構成例(ポリメイト、ノートPC、外部モニタ、ヘッドホンなどは含みません)



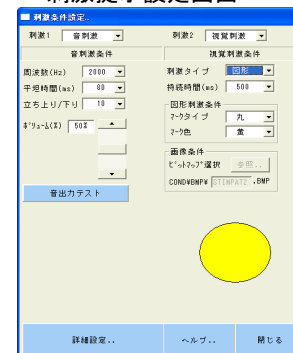
P300 測定画面例



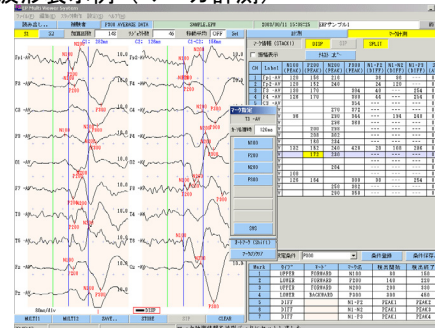
CNV 測定画面例



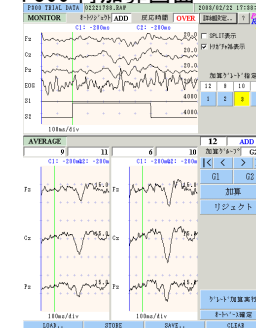
刺激提示設定画面



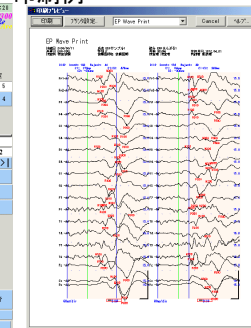
波形表示例(マーカー計測)



P300 再加算画面



印刷例



仕様

- 計測チャンネル数 最大EE30チャネル(トリガ2Ch)
- 刺激 音(トーン、PCのサット機能)、視覚(図形、画像、外部モニタ提示)
- トリガチャンネル数 2系統(P300)、CNV時には1系統
- 刺激モード 内部刺激モード、外部刺激モード
- 反応時間 計測時に反応遅延計測(押しボタン、Enterキー)可能(刺激モニタも切り替えで可能)
- リアルタイム加算モニタ 加算結果及びトリガごとの切り出し波形、CSVファイル
- ファイル保存 Viewerにてマーカー、オートマーカー可能
- マーカー機能 4データの並列表示、SPLIT表示、スーパインポーズ表示
- 波形表示 表示波形の印刷
- 印刷 切り出し波形の任意再加算、グランド加算可能
- 再加算 表示波形イメージ及びテキスト形式でクリップボードコピー
- クリップボードコピー

このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

動作環境

- 収録・解析パーソナルコンピュータ(PC/AT互換機) Pentium4 2GHz相当以上
- メモリ 1GB以上(WindowsXp) ハードディスクの残り容量 2GB以上
- USB2.0ポート 2ポート以上
- サウンド出力機能
- 表示 マルチモニタ対応 解像度 1024×768以上(解析時には1280×1024以上推奨)
- 対応OS Windows Xp, Windows7(32bit)(日本語対応)

開発元 (有)のるぶるライトシステムズ 問い合わせメール noru@fb3.so-net.ne.jp
〒185-0003 東京都国分寺市戸倉2-11-25 TEL/FAX 042-304-1951 できるだけメールでお問い合わせください。